

問1 インドネシアにおいて、かつて経済の大きな柱となっていた地下資源で、現在でも重要な輸出品となっているものを何という？

1. 石炭                      2. 銅鉱                      3. 石油                      4. 鉄鉱石

問2 中国が提唱する巨大経済圏構想において、陸上の交通網として整備されている道筋を何という？

1. 東アジア共同体              2. アジアインフラ投資銀行              3. 一帯一路              4. シルクロード経済ベルト

問3 中国の西部に位置し、世界で最も高い山々が連なっている地形を何という？

1. アルプス山脈              2. アンデス山脈              3. ロッキー山脈              4. ヒマラヤ山脈

問4 夏に吹く季節風の影響で、アジア州の広い範囲が高温多湿になり、多くの雨が降る時期を何という？

1. 乾季                      2. 寒季                      3. 雨季                      4. 暖季

問5 シンガポールが南端に位置し、インド洋と太平洋を結ぶ重要な海上交通路のことを何という？

1. マラッカ海峡              2. ホルムズ海峡              3. スエズ運河              4. パナマ運河

問6 ヒマラヤ山脈のように、プレートの衝突によって形成された比較的新しい造山帯を何という？

1. 楯状地                      2. 新期造山帯                      3. 安定陸塊                      4. 古期造山帯

問7 自動車のバッテリーやスマートフォンなど、最新の技術を用いた製品の製造に関連する分野を何という？

1. 軽工業                      2. 伝統産業                      3. ハイテク産業                      4. 重化学工業

問8 インドネシアにおいて、ジャワ島を中心に盛んに行われている、高温多雨な熱帯の気候を生かした農業を何という？

1. プランテーション農業              2. 稲作                      3. 畑作                      4. 牧畜

問9 経済発展を目的に、東南アジアの国々で構成された地域協力組織を何という？

1. ASEAN                      2. APEC                      3. NAFTA                      4. EU

問10 乾燥した砂漠気候のサウジアラビアにおいて、地下水をくみ上げて行う農業を何という？

1. 焼畑農業                      2. 稲作農業                      3. 放牧                      4. 灌漑農業

問11 北朝鮮において、豊富な地下資源を背景に経済の柱となっている産業は何か？

1. 軽工業                      2. 重工業                      3. サービス業                      4. ハイテク産業

問12 使用済みの家電などの製品から、貴重な金属を回収して再利用することを何という？

1. 都市鉱山                      2. 露天掘り                      3. 地熱発電                      4. 深海採掘

問13 モンゴルにおいて、近年の経済発展により多くの人が集まっている首都はどこ？

1. エルデネト                      2. ダルハン                      3. ウランバートル                      4. チョイバルサン

問14 中国において、最初の経済特区が華僑の資本を導入しやすく貿易に便利であったために集中して設けられた場所を何という？

1. 山岳地帯                      2. 沿岸部                      3. 内陸部                      4. 砂漠地帯

問15 マレー半島とボルネオ島の一部を領土とするマレーシアの首都を何という？

1. プノンペン                      2. ビエンチャン                      3. シンガポール                      4. クアラルンプール

## 答え合わせ・解説

問1	答え 3 石油	石油は、太古の生物の死骸などが長い年月をかけて変化した化石燃料であり、燃料や化学製品の原料として世界中で利用されています。インドネシアはかつてOPEC（石油輸出国機構）に加盟していたほどの大産油国であり、その輸出額は国内経済を大きく成長させる原動力となりました。
問2	答え 4 シルクロード経済ベルト	「一帯一路」は、陸のルートである「シルクロード経済ベルト」と、海のルートである「21世紀海上シルクロード」で構成されます。鉄道や道路の建設を通じて、中国から中央アジア、そしてヨーロッパまでの物流網を構築しようとしています。
問3	答え 4 ヒマラヤ山脈	ヒマラヤ山脈には、世界最高峰のエベレストをはじめとする8000メートル級の山々が多数存在します。これらは、インド亜大陸がユーラシア大陸に衝突することで隆起してできました。
問4	答え 3 雨季	夏には海から湿った季節風が吹き込むため、各地で雨が降り続く雨季が訪れます。この期間は非常に高温多湿であり、植物の成長を促すための豊富な水が得られるため、稲作などの農業にとって最も重要な時期となります。対照的に冬には、大陸から乾燥した風が吹く乾季となり、雨が極端に少なくなります。
問5	答え 1 マラッカ海峡	マラッカ海峡は、マレー半島とインドネシアのスマトラ島の間に位置する狭い海峡です。世界の海上貿易の大きな割合を占める重要な航路であり、石油を運ぶタンカーなど、毎日多数の船が行き交っています。この海峡を支配することは、古くから富を蓄えることにつながりました。
問6	答え 2 新期造山帯	新期造山帯は、こうしたプレートの境界付近で急激な隆起が起きた地域です。そのため、高い山脈や険しい地形が多く見られるのが特徴です。世界にはヒマラヤ山脈のほか、アンデス山脈やアルプス山脈などが含まれます。これらの地域は地殻活動が活発であり、地震や火山活動が頻繁に発生することでも知られています。
問7	答え 3 ハイテク産業	ハイテク産業は、半導体や電子機器、精密機械など、研究開発に多くの費用を投じて高い付加価値を生む産業です。これらには、レアメタルや特殊な素材が欠かせません。
問8	答え 2 稲作	稲作は、水を張った水田で米を育てる農業形態です。ジャワ島ではこの気候を利用して、年に2回から3回米を収穫する多期作が行われることもあります。
問9	答え 1 ASEAN	ASEAN（東南アジア諸国連合）は、現在ではほぼすべての東南アジア諸国が加盟しています。経済協力だけでなく、近年では「ASEAN経済共同体」の設立を目指すなど、経済的な結びつきを飛躍的に強めています。
問10	答え 4 灌漑農業	灌漑農業は、オアシスや深い地層にある地下水（化石水など）をくみ上げて畑に運び、農業を行う手法です。また、雨が降らないため海水を真水に変える高度な淡水化施設も活用されています。これらの技術により、過酷な砂漠環境においても野菜や果物などの栽培が可能になっています。
問11	答え 2 重工業	北朝鮮の経済は、この資源を利用した鉄鋼業や機械工業、化学工業といった重工業を中心に成り立っています。国家主導による計画経済の下、大規模な工業地帯が各地に形成されました。
問12	答え 1 都市鉱山	家庭から出るスマートフォンやパソコンなどの使用済み製品には、金、銀、レアメタルといった貴重な金属が含まれています。これらを廃棄物として捨てずに、リサイクルによって抽出する取り組みは、資源を都市の中に備蓄しているのと同様であることから「都市鉱山」と呼ばれます。
問13	答え 3 ウランバートル	首都であるウランバートルは、急速な経済発展に伴い、国内の人口の多くが集中する都市となりました。政治や行政、経済の中心であり、近代的なビルと伝統的な生活が混ざり合うユニークな景観を見せています。
問14	答え 2 沿岸部	1980年代初頭、改革開放政策の一環として設けられた最初の経済特区（深圳など）は、香港や台湾に近く、歴史的に華僑との結びつきが強い中国の沿岸部に集中しました。この地域は貿易の利便性が非常に高く、外国企業が工場を建設する際に最適な立地条件を備えていました。
問15	答え 4 クアラルンプール	クアラルンプールはマレー半島の西側に位置する都市です。高層ビルが立ち並ぶ近代的な街並みが特徴で、象徴的なペトロナス・ツインタワーなど、急速な経済発展を象徴する建物が多く存在します。単なる政治の中心地であるだけでなく、周辺の都市と一体となって国際的な経済拠点としての地位を確立しています。